

博物館に備え付けの研究機器を活用して、分析的な観察・実習をおこないます。

●昆虫標本の作り方

昆虫の標本を作るのは針などを使うので、むずかしい作業と思っている方も多いようですが、なれてくれば、たくさん作れるようになります。展足・展翅・ラベル作りなど、いっしょに作業しながら学びます。

日 時:8月5日(土)・8日(日)
 午前の部:午前10～12時
 午後の部:午後2～4時の合計4回
 場 所:自然史博物館 実習室
 対 象:小学生以上(小学生は保護者同伴)
 定 員:標本を作る人が各回15名(定員を超えた場合は抽選)
 参 加 費:標本を作る人1名につき500円(標本製作用具の実費)
 お問い合わせ:昆虫研究室の初宿
 お申込み:必要<締切7月24日(月)>

●ホネ標本の作りかた(大人向け)

自分で骨格標本を作れるようになります。ホネの標本の作り方を解説した上で、鳥の頭の骨格標本を作ってみます。今回はダチョウの頭の予定です。

日 時:9月23日(土・祝) 午前10時～午後3時
場 所:自然史博物館 実習室
対 象:高校生以上(定員に余裕がある場合のみ
小中学生も受け入れます)
定 員:24名(定員を超えた場合は抽選)
参 加 費 :材料費などを含め1,500円程度を予定
お問合せ:動物研究室の和田
お申込み:必要<締切9月9日(土)>

●野外・室内実習「火山灰」

大阪平野周辺に分布する大阪層群と呼ばれる地層には、数十層の火山灰層が挟まれています。その中でも代表的な火山灰層である「アズキ火山灰層」を観察します。さらにアズキ火山灰層を博物館に持ち帰って、顕微鏡観察を行います。

日 時:9月30日(土) 午前9時30分～午後3時
場 所:千里丘陵方面(予定)と自然史博物館
対 象:小学4年生以上(小学生は保護者同伴)
定 員:20名(定員を超えた場合は抽選)
参 加 費 :100円、小学生以下50円(友の会会員無料)
お問合せ:第四紀研究室の石井
お申込み:必要<締切9月22日(金)>

▽▲ 編集後記 ▲▽

もうすぐ瀬戸内海をテーマにした特別展が始まります。2年前の特別展からフリーパスというものが登場しています。2回分の観覧料で、特別展を何度でも見ることができます。時間を置いてから繰り返し見たり、その日によってコーナーごとにじっくり見たりすることで新たな発見があると思います。毎週土曜日のギャラリートークも、その日によって担当やテーマが変わりますので、フリーパスを使って、特別展に通うのもオススメです。(大江)

■特別展関連イベント■

●特別展記念講演会「生き物のくらしとつながりからさぐる瀬戸内海の生態系」

瀬戸内海では、昔にくらべて減った生き物もいれば、増えた生き物もあります。この背景をさぐるには、生き物のくらしや生き物どうしのつながりに着目する必要があります。このくらし・つながりの視点から調査に取り組まれているお二人をお招きし、その事例をわかりやすくお話いただきます。

日 時:7月15日(土)午後2時～4時30分
場 所:自然史博物館 講堂
講 師:詳しい講演内容は自然史博物館HPをご覧ください。
参 加 費:無料(博物館入館料必要)
お問合せ:動物研究室の石田
お申込み:不要

●特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ」ギャラリートーク

学芸員によるテーマを絞った展示解説を行います。
※テーマは博物館HPをご覧ください。

日 時:7月15日～10月14日の毎週土曜日
午後0時30分～1時
場 所:特別展会場(自然史博物館 ネイチャーホール)
参 加 費:無料(特別展観覧料必要)
お問合せ:動物研究室の石田
お申込み:不要

■オープンセミナー■

学芸員や研究者が自然史科学を話題に講演します。

●瀬戸内海の海岸植物

瀬戸内海には良好な自然海岸が残っている場所がいくつもあります。そんな海岸では最近では見ることが難しくなったような貴重な植物も。特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ」に関連して、瀬戸内海の海岸で生きる植物を紹介します。

日 時:9月9日(土) 午後1時~2時30分
会 場:自然史博物館 集会室
講 師:横川昌史・長谷川匡弘(植物研究室)
参 加 費:無料(博物館入館料必要)
お問合せ:植物研究室 横川、長谷川
お申込み:不要



Teachers - **M**useum **通信** 2017 No.1

2017/7/
編集・発行：大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/> (学校向けページやキッズページも充実してます)
e-mail: tm@mus-nh.city.osaka.jp

※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきたいと思います。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

■特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ ～生き物のにぎわいとその恵み～」を開催します■

7月15日(土)から10月15日(日)まで、特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ ～生き物のにぎわいとその恵み～」を開催いたします。今回の特別展は、瀬戸内海沿岸の博物館・水族館等と連携し、市民参加の観察会や調査会などで蓄積された、多くの情報や標本資料を元に展示を作っています。海の生き物のほか、植物や昆虫、地質なども含め、瀬戸内海の多様で豊かな自然をご紹介します。また、漁や養殖など、瀬戸内海を利用している様子も展示します。

そして、2015年9月に泉州郡岬町に死亡漂着した全長約7メートルのザトウクジラ全身骨格標本も登場します。そのほか、瀬戸内海沿岸の地形や海底を再現した立体模型や、瀬戸内海に暮らす様々な生き物の精密なレプリカも展示します。

この特別展を通して、私たち人間の生活にも密接に関わる海、身近な瀬戸内海について知っていただきたいと思います。

●ワークシート、遠足・校外学習での見学について

今回も、特別展の見学時に利用できるワークシートをご用意いたします。対象は、「小学生向け」と「中学生・高校生向け」の2種類です。

【小学生向けワークシート】
遠足の時に利用できるワークシートです。8月中旬頃より、特別展HPからのダウンロードできる予定です。また、団体見学の下見資料としても配布いたします。

団体見学の多い時期(10月)は、本館では、団体での見学にさせていただいていますが、特別展会場ではグループ活動やワークシートを解きながらの見学ができます。※混雑状況により制限させていただくことがあります。

【中学生・高大生向けワークシート】
特別展HPよりダウンロードできます。高大生は、このワークシートを提示していただくと、特別展観覧料300円のところ、200円で見学していただけます。夏休みの課題にも、ぜひご活用ください。

■開催概要■

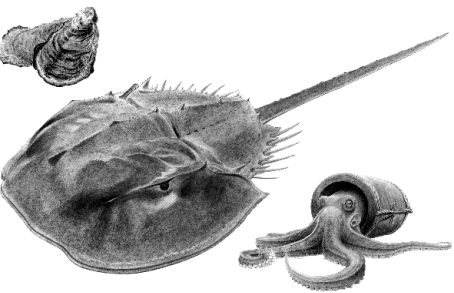
会 期：平成29年7月15日(土)～10月15日(日)
休 館 日：月曜日(ただし、月曜日が休日の場合は翌平日休館) ※8月14日(月)は開館
開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)
会 場：大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
観 覧 料：大人 500円、高校生・大学生 300円 期間内特別展フリーパス 大人 1,000円、高校生・大学生 600円
※本館(常設展)とのセット券は、大人 700円、高校生・大学生 400円 ※30人以上の団体割引あり
※中学生以下、障がい者手帳など持参者(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明)
※本館(常設展)、長居植物園への入場は別途料金が必要です(セット券を除く)
主 催：大阪市立自然史博物館
後 援：大阪府教育委員会、大阪市教育委員会
協 力：船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」
H P：<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/tokuten/2017setonaikai/>



第48回特別展

瀬戸内海の 自然を楽しむ

生き物のにぎわいとその恵み
Commune with nature in Setonaikai



■どんなことをしていますか？～博物館に来館する前後の活動～■

大阪市立自然史博物館には、幼稚園・保育所から中学校まで年間約600団体のみなさんがやって来られます。遠足で博物館に来館する前後に、それぞれどのような活動をしているのか、幼稚園・保育所と小学校1・2年生の引率の先生に、アンケート調査を実施しました。実施期間は、2016年9月1日～2017年3月31日で、52団体から回答を得ることができました。

アンケートでは、多くの幼稚園・保育所と小学校で、事前・事後学習が行われていることがわかりました。また、学習内容としては、幼稚園・保育所と小学校ともに、「教員による博物館の話」が一番多いですが、幼稚園・保育所では、「関連する本を読む」「絵を描く」「造形物を作る」「発表する」など、一つの園で、複数の多様な活動が行われていることが分かりました。

大阪市立自然史博物館では、これまでも来館の事前・事後活動にも使えるワークシート、貸出資料等を提供してきましたが、現在、幼稚園・保育所、そして小学校低学年の子どもたちにも利用いただける資料の企画を進めています。博物館に来館するときだけでなく、その前後の活動を含めた博物館利用の提案をしていくことで、博物館での体験がより深くなると思います。事前・事後活動で先生がどんな話を子どもたちにしているのかなど、まだ詳細が調査不足のところもあります。今後の企画の参考に、「私は、博物館に行く前にこんな話をします」「学校では、こんな事前・事後活動をしている」など、事前・事後活動の詳細を、お知らせください。どうぞよろしくお願いします。

※アンケート調査および事前・事後活動で使える資料の開発は、JSPS 科研費JP16K01208 の助成を受けて行っています。

■教員のための博物館の日2017を開催します■

今年は、中学校の理科の先生方を対象にした「授業するのが難しい」と感じる単元(生物・地学分野)のアンケート結果を元に、プログラムを作りました。また、小・中・高の理科のつながりについての講演、大阪市立科学館の学芸員や天王寺動物園の獣医師によるプログラム、博物館等施設のブース展示・資料配布もあります。当日は、教員のみなさまに博物館を楽しんで頂き、教育現場でも活用していただきたいと思いますので、是非、ご参加ください。

日 時：平成29年8月4日(金)午前10:00～午後5:00
会 場：大阪市立自然史博物館
参加対象：中学校教員、教職課程を学ぶ学生、そのほか学校教育関係者
定 員：50名 先着順 ※大阪市教育センター研修受講者60名も一緒に参加します。
参 加 費：無料
申 込：8月3日(木)までに、学校名等所属・名前を書いて電子メール(tm@mus-nh.city.osaka.jp)でお申込みください。
お問合せ：大阪市立自然史博物館 学校と博物館連携担当 電話 06-6697-6221 メール tm@mus-nh.city.osaka.jp
※プログラムの詳細はHPをご覧ください。

■メガ恐竜展2017を大阪南港ATCホールで開催します■

恐竜の巨大化にスポットを当て、竜脚類を中心に様々な恐竜を展示します。

●ギャラリートーク

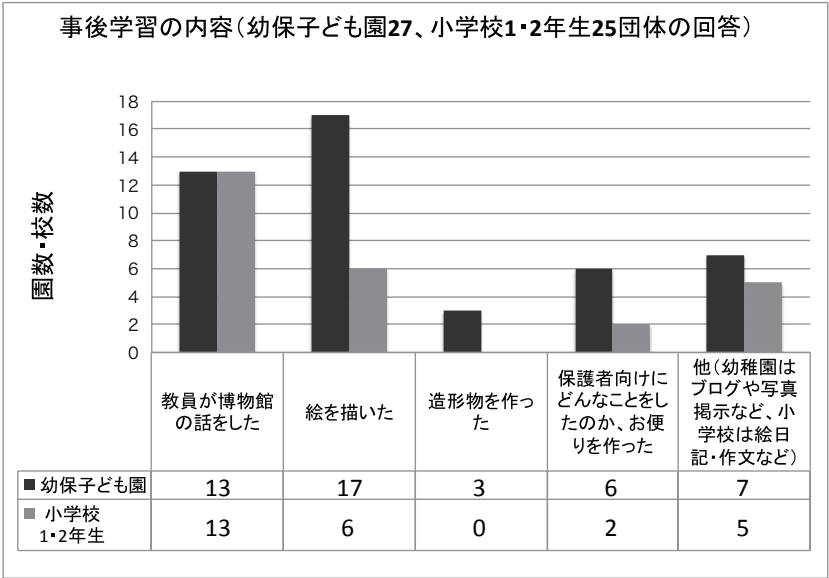
大阪市立自然史博物館の地史研究室の学芸員が展示解説を行います。

日時：7月27日(木)、8月4日(金)・9日(水)・18日(金)
各日午前10時、午後1時の1日2回

※テーマ・担当者等、詳細はHPでご確認ください。他にもイベントを実施する予定です。

	幼稚園 保育所	小学校 1・2年生
事前活動	96.3%	84.0%
事後活動	92.6%	84.0%

▲事前・事後活動を行っている団体の割合



■行事案内■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックして、ご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(※切日必着)。
博物館のホームページからも、お申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名
2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号
3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※定員を超えた場合は抽選することがあります。

抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23
大阪市立自然史博物館 普及係
ホームページ：
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/
e-mail: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

■特別イベント■

●平成29年度自然史学会連合講演会

「瀬戸内海の自然史」

自然史学会連合では、自然史学の普及を目的とした講演会を開催しています。今回は瀬戸内海をフィールドとする第一線の研究者が、魚や海藻、生物多様性について最新の研究成果をわかりやすくお話しします。

日 時：8月19日(土)午後1時～4時10分
場 所：自然史博物館 講堂
演題・講師：詳しい講演内容は自然史博物館HPをご覧ください。

参 加 費：無料(博物館入館料必要)
お問合せ：動物研究室の石田
お申込み：不要

●自然史学会連合体験教室

自然史学会連合に加盟する学協会等が、専門分野をテーマとした工作やワークショップコーナーを出展します。
※詳しい内容は自然史博物館HPをご覧ください。

日 時：8月19日(土) 午前11時～午後5時
場 所：自然史博物館 本館
参 加 費：無料(博物館入館料必要)
お問合せ：動物研究室の石田
お申込み：不要

■植物園案内■

●植物園案内

植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。

日 時：毎月第4土曜日 午後2時30分～4時
集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費：無料(植物園入園料必要)
お問合せ：植物研究室
お申込み：不要

●植物園案内・昆虫編(7月) 「セミのなる樹」

大阪に多いクマゼミ。たくさん集まる樹とそうでない樹があります。これらを観察しながら、セミの上手な採り方や道具の作り方を学びましょう。

日 時：7月29日(土)午前10時～12時 ※雨天中止
集 合：自然史博物館 通用口
参 加 費：無料
持 ち 物：捕虫網、虫カゴ、タオル、飲み物
お問合せ：昆虫研究室の初宿
お申込み：不要

●植物園案内・動物編(8月)「子ども連れの鳥さがし」

多くの鳥の繁殖期はそろそろ終わり。家族連れの鳥をよく見かける季節です。巣立ったばかりの鳥の子どもたちを探してみましょう。

日 時：8月5日(土)午前10時～12時 ※雨天中止
集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費：無料(植物園入園料必要)
お問合せ：動物研究室の和田
お申込み：不要

●植物園案内・動物編(9月) 「秋の渡り鳥」

秋の渡りの途中に立ち寄ったオオルリやセンダイムシクイなどの小鳥を探します。

日 時：9月2日(土)午前10時～12時 ※雨天中止
集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費：無料(植物園入園料必要)
お問合せ：動物研究室の和田
お申込み：不要

■テーマ展示■

●パネル展

「2016年熊本地震 活断層に備えよう」

会 期：7月29日(土)～9月10日(日)
会 場：自然史博物館 本館2階イベントスペース
観 覧 料：常設展入館料(大人300円、高校生・大学生 200円)
お問合せ：第四紀研究室の石井